

世界患者安全の日

(World Patient Safety Day)

松本城オレンジライトアップイベント



毎年9月17日は世界患者安全の日です。

2025年テーマ

「すべての新生児とすべての子どもに安全なケアを」

(Safe care for every newborn and every child)

世界患者安全の日は、患者の安全に対する意識を高め、医療の質を向上し、医療における回避可能な患者の害を最小化する国際的な取り組みを促進するために2019年の世界保健機関（WHO）第72回総会で制定されました。以前より、ドイツの患者安全連合（非営利団体）がスイスの患者安全推進団体と協働して毎年9月17日に開催していた患者安全イベントをもとに、世界的な記念日としました。

信州大学医学部附属病院、そして、信州で患者安全活動が行われ、さらなる医療安全文化の醸成に向けた決意を示すため、2025年9月17日に松本城を世界患者安全の日のシンボルカラーであるオレンジ色にライトアップします。



信州大学医学部附属病院 病院長 花岡 正幸

副病院長・医療安全管理責任者 関島 良樹

医療安全管理者 増田 雄一